

「第11回 浜松市調べ学習コンクール」審査結果について

中央図書館

1 開催趣旨

図書館の本やインターネット等様々な情報を使って、日常生活や学習上の疑問点を考え、解決を導く「調べ学習」の研究レポートを募集し、その努力や工夫を評価することで、調べ学習の振興を促す。これにより、小学生の「問題発見・解決能力」や「情報活用能力」等、新しい時代に求められる資質・能力を養うとともに、図書館利用の促進を図る。

2 主 催 浜松市、浜松市教育委員会

3 後 援 公益社団法人浜松青年会議所、公益財団法人図書館振興財団

4 対 象 浜松市内の小学3～6年生

5 審 査 員 浜松市退職校長親和会及び主催、後援団体から選出した13人
(うち一人は審査委員長)

6 応募数

(1) 応募学校数 84校

(2) 応募点数 3,017点

学 年	応募人数
3年生	487人
4年生	818人
5年生	759人
6年生	953人

7 表 彰

市長賞、教育長賞、中央図書館長賞 各1人

優秀賞 各学年2人 計 8人

優良賞 各学年3人 計12人

奨励賞 各学年5人 計20人

学校賞 5校

8 表彰式

(1) 日 時 令和元年11月10日(日) 午前10時～11時

(2) 会 場 浜松市立城北図書館 講座室

9 作品傾向

- ・郷土関係(お茶、音楽、楽器、浜松城)
- ・生き物(犬、ネコ、昆虫、深海生物、絶滅危惧種、恐竜)
- ・からだや病気(アレルギー、熱中症、薬)
- ・食品(発酵食品、米、きのこ、チョコレート)
- ・自然、災害、防災(雷、地震、地球温暖化、台風、宇宙、星座)
- ・社会と福祉(点字、盲導犬、ユニバーサルデザイン、貨幣の歴史や各国の通貨)
- ・歴史と文化(戦争、和紙、筆、特定の国の歴史と文化)
- ・近年の話題(SDGs、異常気象、オリンピック)

10 全国コンクールへの出品

市長賞、教育長賞、中央図書館長賞、優秀賞、優良賞の計23点は、全国コンクールの三次審査に出品。

上位三賞受賞作品のあらましと評価について

市長賞

作品名「熱帯日本に生きる私達 ～今、あなたに伝えたい事があります～」

静岡大学教育学部附属浜松小学校6年 井上 月

(作品あらまし)

地球温暖化について、自分たちには何ができるかを考え、小学生を対象とした温暖化についての啓発イベントを計画。イベント成功のために、人への伝え方や効果的な話し合いの方法などを学び、工夫を凝らして実施した。個人でできることを調査、実験、共有した後は、国や市、民間での取り組みを本やインタビュー等で調べ、それぞれの取り組み内容を知る。温暖化防止についての自治体や企業の活動も個人の活動も、どちらも一人ひとりの関心と行動が大切であることに至った。

(評価)

着眼点が面白く、体験も豊か。丁寧に書かれていて表現の仕方が良い。道すじを立て、予測をし、実験、検証と成功させるためのプロセスが素晴らしい。自分の考えもしっかりまとめられている。

教育長賞

作品名「災害からいのちを守ろう」

浜松市立豊西小学校5年 久保田 明莉

(作品のあらまし)

災害の報道をきっかけに、防災について調べた作品。小学校のそばの危険な場所や、校内・家の中での危険な場所とその対策、防災グッズやAED、地震や津波の仕組みなどたくさんのことを調査した。周りの人に伝えたいという強い思いから、模造紙を用いて壁新聞の形式でまとめ、隅々まで情報を載せて完成させた作品。

(評価)

災害から命を守るためにはどうしたらよいかという強い問題意識をもって、家庭・学校・地域という身近な場所の危険性や対策を、現地調査を通して詳しく、具体的に調べている。また、地震そのもののことの調べも詳しい。調べて分かったことについての感想や自分の考えもよく書けている。

中央図書館長賞

作品名「私たちの食生活とカビ ～カビとはどういう生き物なのか～」

浜松市立広沢小学校6年 内藤 志歩

(作品のあらまし)

一昨年に、食べ物の保存について興味をもち、昨年、発酵食品について調べ学習をした。その過程でカビが生活に影響を与えてきたことを知り、今回カビをテーマにする。カビの性質や特徴を種類ごとに詳しく調べ、個々のカビの毒性について知る。その後、カビを利用した食品について調べを進め、実際に醤油や甘酒の作り方を体験する。生活にカビを利用するという視点からの調査の後、生き物の進化とカビの歴史を学び、菌も生態系の一員であることを実感した。

(評価)

身近なところから調べ学習がはじまっており、生活に生かせるテーマを選んでいてとても良い。豊かな表現が素晴らしい。情報をよく整理していて見やすくわかりやすい作品。